

公共事業等施行状況調（令和5年6月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		(6月末)				
		5年度	4年度	5年度 A	4年度 B	5年度 C	C/A	4年度 D	D/B	
1	治山・治水	24,617	23,764	14,339	16,811	3,981	27.8	4,755	28.3	
2	農林・水産	31,136	32,749	23,420	24,654	4,893	20.9	6,702	27.2	
3	道 路	55,593	53,793	30,787	33,860	10,286	33.4	9,983	29.5	
4	港湾・空港	7,562	7,082	3,342	2,983	1,598	47.8	1,156	38.8	
5	下水道・公園	10,777	9,868	2,522	2,732	347	13.8	354	13.0	
6	住 宅	1,298	1,489	1,227	1,045	829	67.6	502	48.0	
7	庁 舎	2,374	2,467	2,103	2,315	1,485	70.6	1,279	55.2	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	6,558	5,802	3,929	4,519	1,611	41.0	902	20.0	
11	工業用水・上水道等	1,251	950	344	84	11	3.2	48	57.1	
12	災害復旧	5,822	602	5,200	457	1,174	22.6	27	5.9	
13	その他	6,453	7,419	4,259	4,153	1,171	27.5	1,284	30.9	
	計	153,442	145,984	91,472	93,613	27,386	29.9	26,992	28.8	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和5年6月末）

（単位：社、件、百万円、％）

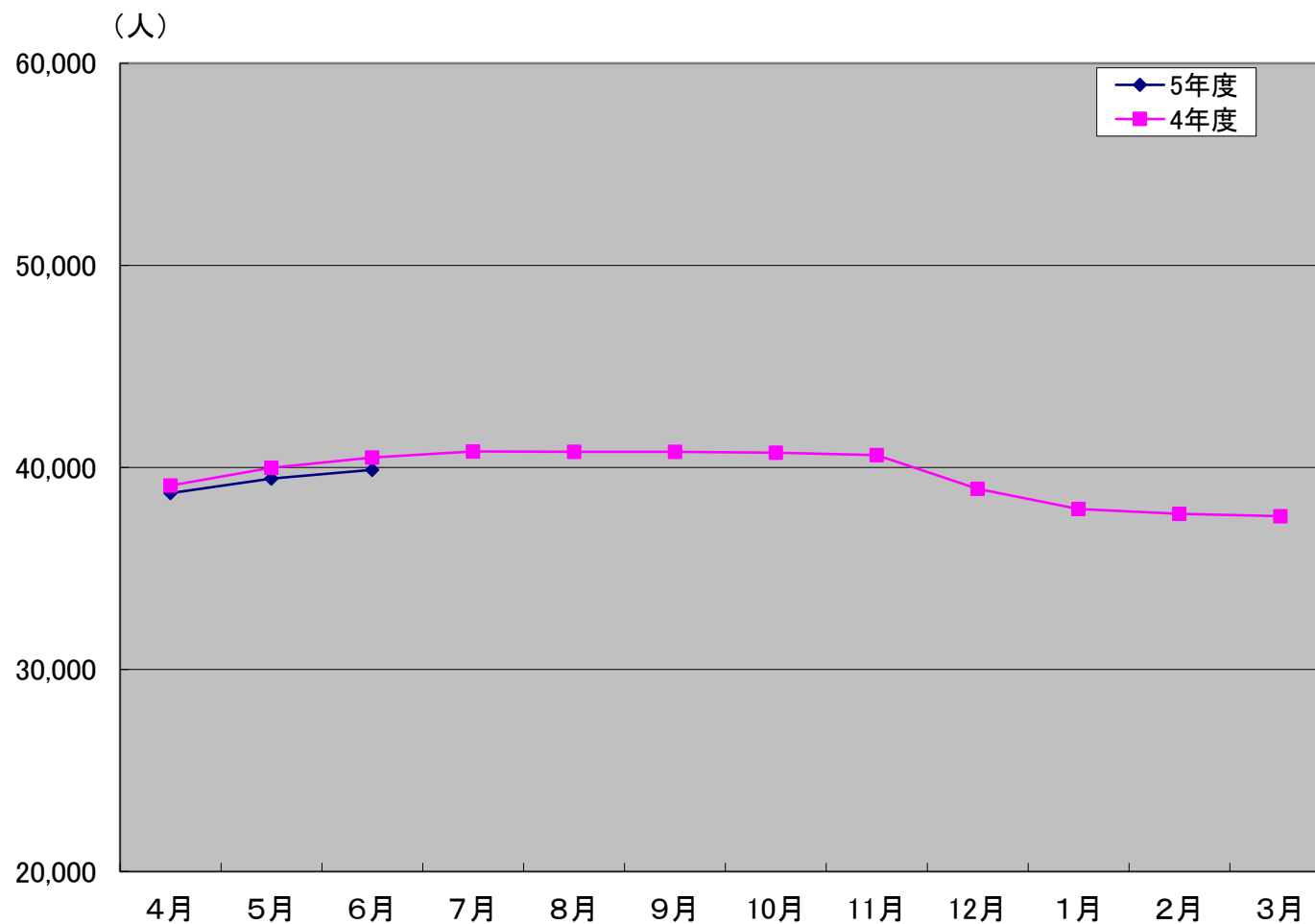
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
5年度	153,442	91,472	7,301	683	27,386	7,146	648	23,321	121	24	1,073	34	11	2,992
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					29.9	97.9	94.9	85.2	1.6	3.5	3.9	0.5	1.6	10.9
前年度比	105.1	97.7	113.0	105.1	101.5	113.5	106.2	102.5	96.8	92.3	74.9	81.0	78.6	106.5
4年度	145,984	93,613	6,463	650	26,992	6,296	610	22,750	125	26	1,433	42	14	2,809
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					28.8	97.4	93.8	84.3	1.9	4.0	5.3	0.7	2.2	10.4

被保険者数

	5年度	4年度
4月	38,728	39,104
5月	39,445	39,983
6月	39,880	40,493
7月		40,790
8月		40,778
9月		40,773
10月		40,728
11月		40,608
12月		38,934
1月		37,942
2月		37,700
3月		37,587

前月末被保険者数	39,445
資格取得者数	909
資格喪失者数	459
転入者数	1
転出者数	16
今月末被保険者数	39,880

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)6月末



建設資材の需給・価格動向調査 (5年7月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 降	上 昇	安 定	下 降		上 昇	安 定	下 降	上 昇	安 定	下 降	
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			普通ポルトランド(バラ)でトン当たり18,400円と前月比変わらず。5月の青森県内の販売量は2万4千トン(協会調べ)で前年同月比3.4%増。メーカー各社は、5月に浸透した現行販売価格を維持することで、悪化した事業採算の改善を進めていきたい意向にある。値上げ要因となった石炭相場にも目立った動きは見られない。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加。コンクリート製品メーカー各社は、セメント、電力料金の値上がりや輸送コストの増加を理由に、値上げの上積みを求め交渉を継続している。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示し、安定調達を優先する姿勢。先行き、強含みの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の6月の出荷量は5万1千m3(生コン工組調べ)で前年同月比8.6%の減。セメントや骨材などの値上げ要請があるなか、メーカー各社は、輸送コスト増加や原材料価格の上昇による採算悪化回避のため、強腰の姿勢で値上げ交渉を継続している。需要家は値上げに難色を示しつつも安定調度を優先し、弘前で値上げが浸透した。メーカー各社は値上げの上積みを求め交渉を継続する構えだが、浸透には時間を要しそう。先行き、横ばいの公算大。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○			生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。一部メーカーは、燃料高やダンプトラックの逼迫による輸送コストの増加、出荷量減少に伴う固定費率の上昇を理由に年度内に追加で値上げを予定している。需要家は短期間でのさらなる値上げに対して、慎重な姿勢であるものの、社会情勢の変化に理解を示し受け入れる動きも見られる。先行き、横ばいの公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295・D16でトン当たり117,000円と前月比1,000円の下落。新規需要は減少しており、市中は盛り上がり欠けが続いている。電力料金の値上がりなど製造コスト増を背景に、メーカー各社は現行価格維持の姿勢を示している。しかし、数量確保を優先する流通業者間の販売競争が広がり、下落局面となった。鉄スクラップ価格は、ここにかけて反発しているものの、需要家の購入姿勢は厳しさを増しており、目先、弱基調の公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			6月の県内出荷量は4万1千トン(合材協会調べ)で前年同期比26.8%の減少。大型物件が少なく、維持修繕など小規模工事向けが中心で商況は盛り上がり欠けている。メーカー各社はエネルギー価格上昇に伴う製造コストなどの増加分を販売価格に転嫁するため値上げ交渉を継続。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、値上げの受け入れには慎重な構えを崩していない。交渉はこう着状態が続くと予想され、先行き、横ばいの公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○			管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり89,000円と前月比変わらず。5月の県内新設住宅着工戸数は322戸で前年同月比45.5%の減少(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比27.7%の減少、貸家が同70.6%の減少などとなっている。依然として住宅建築需要の回復は見られず、市中の荷動きは低調なまま。こうしたなか、円安を受け輸入材の現地価格が上昇に転じているため、流通各社はこれ以上の値下げは厳しいと判断し、現行価格維持に動いている。先行き、横ばいで推移しそう。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり125円、重油はローリー渡りでリットル当たり86円とともに前月比4円上伸。円安進行により原油調達コストが増加し、元売り各社は仕切価格を引き上げた。これを受けて流通筋が価格転嫁を進め、全油種で値上げが浸透。原油相場はサウジアラビアの追加減産、ロシアの輸出削減などが発表されたが、景気後退による需要回復の遅れへの懸念は払拭されず、不安定な状況が続くものとみられる。一方、国内は補助の段階的な縮減が続き、目先、強基調の見込み。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○			12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,850円と前月比50円の下落。6カ月連続の下落となった。5月の輸入合板入荷量は15万m3で前年同月比39.1%の減少(財務省調べ)。市中在庫も減少傾向となっているものの、需要回復の兆しが見られず流通業者が売り上げ確保に動いたため、続落した。現地価格が安定していることに加え、円安の影響による輸入コスト増が見込まれるため、市中では現状を底値と見る向きが多い。先行き、横ばいの見通し。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり128,000円と前月比変わらず。荷動きへの影響が大きい中小建築需要の低迷で、商況は精彩を欠いている。メーカー各社の値上げによって採算が悪化している流通筋は、値上げをしたくない意向にある。しかしながら、数量確保を目的とした安値折り合いも散見され、現行価格の維持が精いっぱい状況。需要回復には時間を要し、流通業者間の価格競争が広がることが予測される。目先、弱含みで推移する公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (5年7月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	0.0	560	0.0	560	0.0	560	0.0	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	14,800	0.0	15,600	14.7	16,700	0.0	15,700	4.4	
砕石等	洗砂	m3	3,500	0.0	3,400	0.0	4,900	0.0	3,933	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,300	0.0	4,400	0.0	4,900	0.0	4,533	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,400	0.0	3,500	0.0	3,700	0.0	3,533	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	117,000	-0.8	117,000	-0.8	117,000	-0.8	117,000	-0.8	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	107,000	0.9	107,000	0.9	107,000	0.9	107,000	0.9	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	125.0	3.3	125.0	3.3	125.0	3.3	125.0	3.3	125,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	86.0	4.9	86.0	4.9	86.0	4.9	86.0	4.9	86,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,850	-2.6	1,850	-2.6	1,850	-2.6	1,850	-2.6	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	128,000	0.0	128,000	0.0	128,000	0.0	128,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

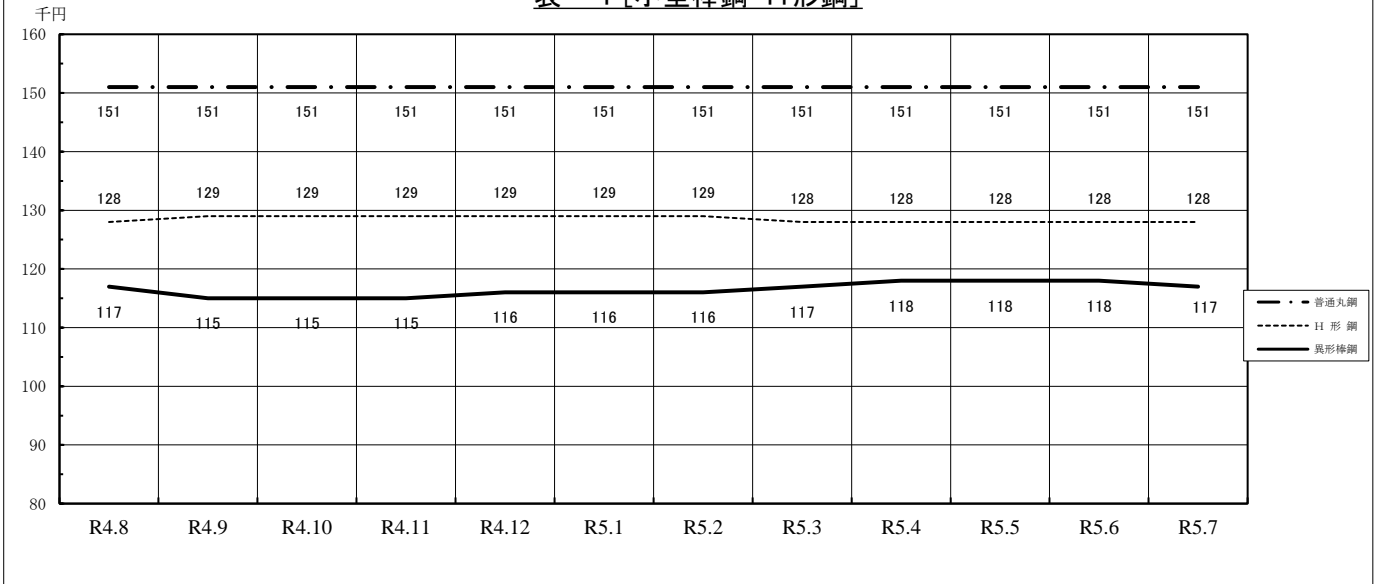


表-2 [セメント・生コン]

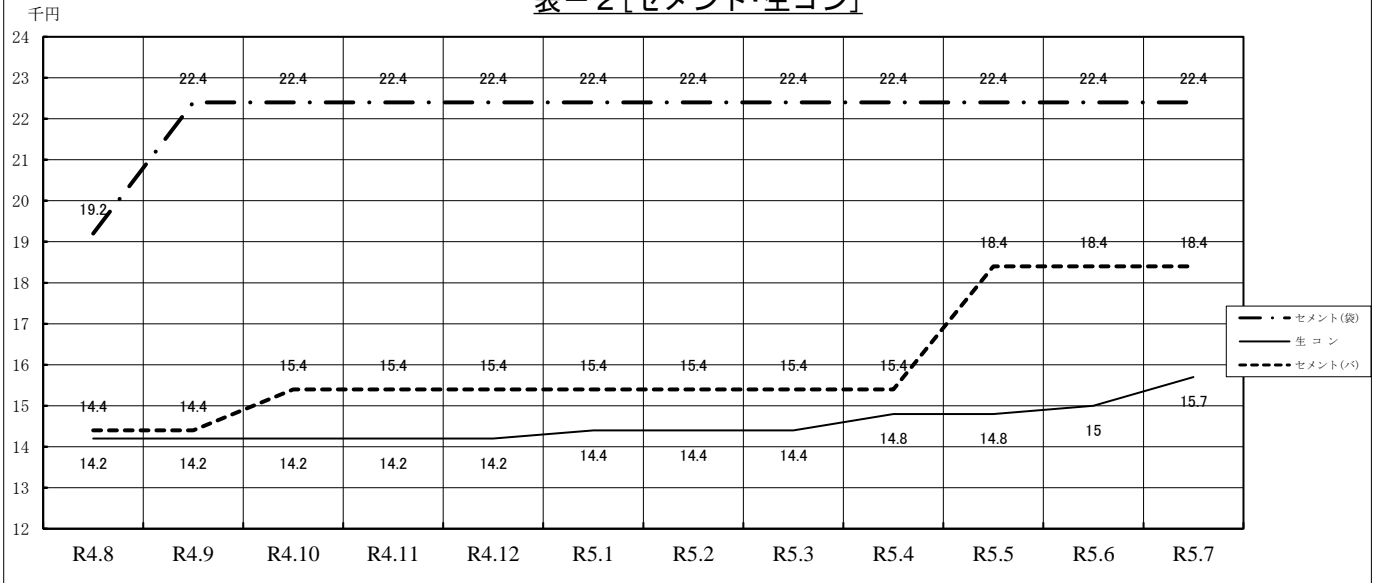
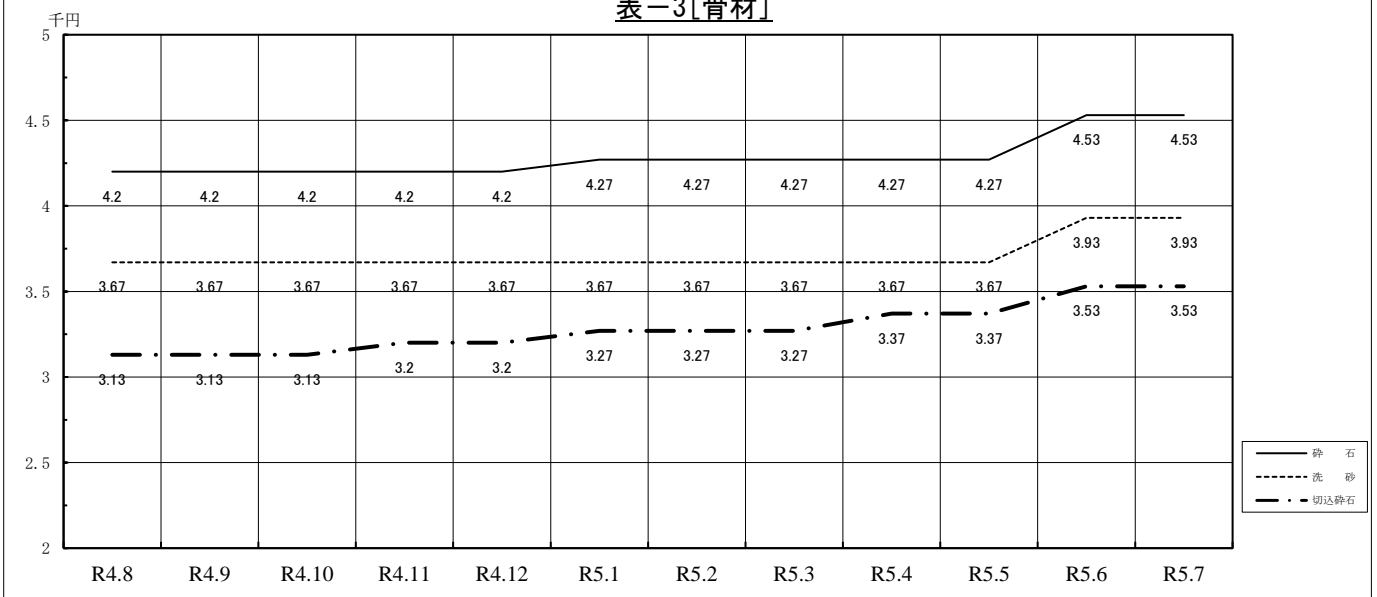


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

